



子どもたちの 明るい未来のために

～つながり、皆で育む～

県では、全国に比べて特に深刻な沖縄県の子どもの貧困問題に対応するため、国、市町村等と連携して、社会の一番の宝である子どもたちの健やかな成長と学びを地域で支える取組を行っています。(参考：子どもの貧困率 全国13.9%、沖縄県29.9%)
連載第1回目は市町村が配置・設置している子どもの居場所と支援員を紹介します。

1 子どもの貧困対策支援員

沖縄県内には、行政などの支援を受けられるにも関わらず、サービスが知らなかったり、手続きを行う余裕がない子どもや大人が大勢います。市町村に100人程度配置されている支援員は、そのような人たちのために、学校や家庭、地域に出向いて、悩み事の相談や支援サービスへのつなぎなどを行っています。



2 子どもの居場所

子どもの居場所とは、家庭・学校以外で放課後や休日に、地域の大人や友達と一緒に食事を作って食べたり、勉強したり、創作・体験活動等を行うことができる場所のことで、県内ではおよそ130カ所で活動しています。多様な体験や大人との関わりによって、子どもたちが楽しく安心して過ごせるような配慮をしながら、地域づくりとしても子どもたちを応援する取組が行われています。

運営のお手伝いや食材等の提供を募集している居場所もありますので、ご協力可能な方はお近くの市町村にお問い合わせください。



問い合わせ

子ども未来政策課 電話：098-866-2100 FAX：098-868-2402

広告



初めての沖縄キャンプとなったバガルト仙台的サッカー教室

サッカーキャンプ & プロ野球キャンプ シーズン到来!

1月からは、サッカーキャンプ!

1月、Jリーグをはじめとするサッカーキャンプが北は本部町から、南は石垣島まで県内全域で実施されます。2018年春には、J1からJF1、などしりリーグや韓国、中国、大学まで様々なカテゴリーの計24クラブ

2月からは、プロ野球キャンプ!

2月、プロ野球キャンプは、北は国頭村、南は石垣島まで県内全域で実施されます。2018年春には、日本9球団、韓国6球団の計15球団が県内でキャンプを実施しました。
昨年に引き続き、今年も那覇空港2階にプロ野球沖縄キャンプブース「めんそ〜れパーク」を設置し、各球団のユニフォーム展示やプロ野球沖縄キャンプガイドブックの配布を予定しています。キャンプ地を訪れるほか、空港では、ぜひ、「めんそ〜れパーク」に立ち寄り、プロ野球沖縄キャンプを楽しんでいただきたいです。

県内でキャンプを実施し、キャンプ地は大いに賑わいました。今年は、新たな取組として、沖縄サッカーキャンプのガイドブックを作成し、モノレール駅、コンビニエンスストア、キャンプ地などに配布予定です。ぜひ、ガイドブックを手に取り、近くのキャンプ地に足を運んでみてはいかがでしょうか。



沖縄サッカーキャンプ2019
専用WEBサイト
<http://soccer-camp.okinawa/>



プロ野球沖縄キャンプ2019
専用WEBサイト
<https://www.okinawabaseball.com/>



経済効果の推移

プロスポーツキャンプでは、多くのファンやメディアがキャンプ地を訪れ、地域の活性化や大きな経済効果を生み出しています。2018年春の経済効果は、サッカーキャンプで約20億円(前年比+約8億円)、プロ野球キャンプで約12.3億円(前年比+約13億円)と好調を推移しており、今年は更に、元スペイン代表のJ1ヴィッセル神戸所属アンドレス・イニエスタ選手やJ1サガン鳥栖所属フェルナンド・トーレス選手などが県内でキャンプ予定です。更なる賑わいが期待されます。
また、キャンプ期間中に行われるスポーツ教室では、技術の向上だけでなく、児童生徒に夢や希望を与えており、アスリートキャリアの構築にも大きく寄与しています。
沖縄県では、サッカーキャンプ、プロ野球キャンプともに専用のWEBサイトを公開し、随時情報発信していきますので、ぜひこちらもご利用いただければと思います。



那覇空港2階「めんそ〜れパーク」

問い合わせ

スポーツ振興課 電話：098-866-2708 FAX：098-866-2729